

白雲節

四老合老四五中七中五七中五合五七四老合老四五中合

中七五老四合五七七四五老七四五老七四五中王五老五七

中合中七五王中七中七四中五七工中上七四五四七五老

四五四老合五合七合老四五老四中王五合五王中合五七

八合八合八七五七中王五老五七四老合五老七上老四合

五七

一、白雲ぬ如に見ゆるあぬ島に
飛び渡ていみぶさ 羽ぬ有とうてい
羽ぬ有とうてい

二、飛び鳥ぬ如に自由に飛びりてれ
毎夜行じ行逢てい 語れすしが
語れすしが

三、我が想る無蔵(里)や 白雲ぬ如に
見ゆるあぬ島ぬ なひんあがた
なひんあがた

四、我がや思み尽くす だきに思ゆしが
渡海ゆ隔じゃみりば 自由ならん
自由ならん

五、例い渡海隔じゃみ 別りやい居てい
ん 白雲に乗してい 思い知らさ
思い知らさ

六、一人淋々とう 眺む白雲ん
無蔵(里)姿なとてい 忘りかにき
忘りかにき